

第 43 号 2003 年 6 月

【論 文】

Man as Machine: The Plight of 20th Century Economics

Peter J. Boettke, Christopher J. Coyne and Peter T. Leeson (1)

マーシャルの生産知識論——標準化と外部経済論——

藤井 賢治 (11)

ジェイムズ・ステュアートの為替論

古谷 豊 (24)

ピグーの理想的功利主義の構造と厚生経済学

山崎 聡 (38)

ハイエクとヒューム, スミス——社会秩序の形成過程をめぐって——

太子堂正称 (52)

【研究動向】

日本経済思想史：江戸から明治へ——江戸時代経済思想史研究の二十年——

小室 正紀 (68)

イタリア経済思想史における啓蒙と改革——ナポリからの視点——

奥田 敬 (87)

【書 評】

竹本洋・大森郁夫編著『重商主義再考』日本経済評論社, 2002, iv ; 306 頁.

大黒 弘慈 (104)

原田哲史『アダム・ミュラー研究』ミネルヴァ書房, 2002, xxi ; 354 ; 15 頁.

田村 信一 (106)

田中敏弘『アメリカの経済思想——建国期から現代まで』名古屋大学出版会, 2002, viii ; 262 頁.

高 哲男 (108)

星野彰男『アダム・スミスの経済思想——付加価値論と「見えざる手」』関東学院大学出版会, 2002, x ; 280 ; 15 頁.

新村 聡 (110)

塩野谷祐一『経済と倫理——福祉国家の哲学』東京大学出版会, 2002, ix ; 444 頁.

有江 大介 (112)

四野宮三郎『J.S. ミル思想の展開, III, 社会体制の継起性と過渡形態論』御茶ノ水書房, 2002, vii ; 226 頁.

杉原 四郎 (114)

Nancy Churchman: *David Ricardo on Public Debt*. New York: Palgrave, 2001, xiv; 186 pp.

堂目 卓生 (116)

Luigino Bruni: *Vilfredo Pareto and the Birth of Modern Microeconomics*. Cheltenham: Edward Elgar, 2002, x; 166 pp.

川俣 雅弘 (118)

Philip Mirowski: *Machine Dreams: Economics Becomes a Cyborg Science*. Cambridge: Cambridge University Press, 2002, xiv; 655 pp.

荒川 章義 (120)

J.E. King: *A History of Post Keynesian Economics since 1936*. Cheltenham: Edward Elgar, 2002, vii ; 316 pp.

鍋島 直樹 (122)

John Berdell: *International Trade and Economic Growth in Open Economies: Classical Dynamics of Hume, Smith, Ricardo and Malthus*. Cheltenham: Edward Elgar, 2002, xi ;186 pp.

内山 隆司 (124)

Philip Connell: *Romanticism, Economics and the Question of 'Culture.'* Oxford: Oxford University Press, 2001, xii; 338 pp.

柳沢 哲哉 (126)

【Notes and Communications】

『重商主義再考』に対する 3 つのコメント

深貝保則・田中秀夫・柳澤治 (128)

Hauke Janssen's *Nationalökonomie und Nationalsozialismus: Die deutsche Volkswirtschaftslehre in den dreissiger Jahren*

Chikako Nakayama (138)

【Editor's Note】

研究動向シリーズ：日本経済思想史

『重商主義再考』に対する 3 つのコメント

投稿規定

この『年報』の刊行にあたっては、平成 15 年度日本学術振興会科学研究費補助金（学術定期刊行物）の交付を受けた。